



鶴見大学夏期就業体験 学生受入ガイド 2024

鶴見大学

学生支援事務部

キャリア支援課 夏期就業体験担当

〒230-8501 神奈川県横浜市鶴見区鶴見2-1-3

TEL: 045(580)8225(ダイヤルイン)

FAX: 045(580)8258

E-mail: internship@tsurumi-u.ac.jp

<https://www.tsurumi-u.ac.jp/site/career/internship.html>



目次

I	実習生受入ガイド	p.1
1	夏期就業体験の目的	
2	対象学生	
3	実習期間	
4	実習人数	
5	受入の際のお願い	
6	実習内容	
7	実習条件（就業時間・報酬等・保険）	
8	実施手順	
9	覚書	
10	誓約書	
11	災害・事故等への対応について	
II	単位化夏期就業体験（英語英米文学科）	p.5
1	英語英米文学科について	
2	英語英米文学科の夏期就業体験の概要	
3	実施手順・必要書類	
III	参加者数について	p.6
IV	実施手順	p.6
V	必要書類一式について	p.7

I 実習生受入ガイド

1 夏期就業体験の目的

実社会での就労体験学習を通じて、自身の進路や職業に対する関心を高め、「働く」という漠然としていたイメージを現実的に認識し、企業活動への理解を深めるとともに社会常識の習得を目的としています。

2 対象学生

文学部（日本文学科・英語英米文学科・文化財学科・ドキュメンテーション学科）の2・3年生が対象になります。なお、英語英米文学科では、夏期就業体験が正課の「特別実習」として単位認定されます。詳細は5頁「II 単位化夏期就業体験（英語英米文学科）」をご参照ください。

実習を希望する学生に対しては、単位の有無に関わらず、事前・事後指導を義務付け、ビジネスマナー、自己分析、業界・企業研究や成果報告書作成を指導しております。

3 実習期間

令和6年8月5日（月）～9月13日（金）のうち、日数については、対面・遠隔含め実働5日間以上からご相談ください。

*文学部年間行事予定で、前期の試験最終日は8月2日（金）です。

4 実習人数

事前に受入可能な人数をお尋ねし、その範囲で学生数を調整させていただきます。学生の人数が確定次第「鶴見大学夏期就業体験学生名簿【様式5】」をお送りいたします。

5 受入の際のお願い

- (1) 実習前に受入計画を立てていただき、「受入確認書【様式1】」、「受入企業概要書【様式2】」及び「受入計画書【様式3】」の提出をお願いいたします。
- (2) 実習にあたっては、学生の担当をお決めいただきたいと存じます。
- (3) 学生は毎日「実習日誌【様式8】」をつけますので、ご担当者におかれましては、チェック項目欄とコメント欄にお気付きの点、ご意見、ご感想等をご記入願います。
- (4) 実習終了後に「夏期就業体験学生評価書【様式9】」及び「鶴見大学夏期就業体験 アンケート【様式10】」のご記入のうえ、ご返送をお願いいたします。

6 実習内容

「受入計画書【様式 3】」をご提出していただき、学生の実習先の選択・実習の準備に利用させていただきます。**学生と企業のミスマッチを防ぐため、実習内容は可能な限り詳しく、ご記入ください。**

- (1) 学生には実習前にビジネスマナー等の基礎的な指導は行いますが、実務に携わる知識や能力は不十分ですので、補助的な仕事、アシスタントとしての役割等をご指示願います。なお、夏期就業体験プログラムの一例として、以下のようなものがあります。

【初日】 事業内容の説明及び社内見学

事前に業界・企業研究は行っておりますが、可能であれば**貴社全体の組織や業務についての概要説明、又は貴社の負担が少ない範囲での社内や工場・職場の見学等**を行って頂けると、学生が夏期就業体験に取り組むにあたり、更に実習内容の理解が深まります。企業様によっては顔合わせも兼ねて、実習期間より前に行っている場合もございます。

【2日目以降】 実習

企業様によってプログラムは多岐に渡りますが、以下の5つの形態を組み合わせで、運営されている場合が多くあります。

① 課題解決型

用意されたプログラムを個人、またはグループで取り組む形式です。プログラムの内容によっては最終日に成果として発表する場合があります。新規事業企画の立案や成果物の作成も含まれます。

② 仕事体験型

決まった配属先でじっくりと就業体験をする形式です。入社1年目の社員と同程度の業務を通じて、職場の雰囲気や具体的な業務内容の理解を促進します。

③ 企業体験型

いくつかの部門を1日単位で体験していく形式です。横断的に業務内容を学ぶため、企業様がどのような業務の上で運営されているのか知ることができます。

④ ジョブシャドウ型

指導担当の社員につき、仕事をする姿を通して会議の熱気や緊張感を感じ、一部の仕事も手伝いながら、仕事の厳しさを肌身で体験することができます。

⑤ オンライン型

仕事内容の説明や講義を座学で行っていただく形式です。実習内容は課題解決型に準ずるものがありますが、**Webカメラ**を用いて社内見学等を行うことで企業理解を促進します。昨年度のプログラム一例として、スピーチ研修や講義、ビジネスマナー研修を実施していただいたケースがございます。

【最終日】 実習の振り返り

学生が実習を通して学んできた内容を元に企業ご担当者様と面談し、学生の発表に対して、フィードバックいただければと思います。

- (2) ご迷惑のかからない範囲で、できるだけさまざまな体験をする機会を与えていただけると幸いです。また、オンラインで夏期就業体験を行っていただく場合も、可能であれば初日、最終日は対面で行っていただけますと幸いです。

7 実習条件(就業時間・報酬等・保険)

- (1) 就業日・就業時間に関しては、貴社の諸規程に拠るものとしませんが、昼間業務(9:00～17:00)を原則としていただき、昼間業務外の勤務については事前にご相談ください。
- (2) **日当・昼食費・交通費等は辞退します。**
- (3) 通勤や実習中に発生した事故や傷害に備え、傷害保険及び賠償責任保険に加入しています。(本学加入の学生教育研究災害傷害保険(通学中等危険担保特約付)と学研災付帯賠償責任保険が適用されます。)
また、貴社独自の保険に加入が必要な場合は、ご一報いただけますと幸いです。

8 実施手順

6頁の「IV 実施手順」をご参照ください。

9 覚書

実習を実施することとなりましたら、貴社と本学間にて「夏期就業体験に関する覚書【様式7】」を取
交わします。

10 誓約書

本学より貴社へ学生からの「誓約書【様式6】」を提出いたします。

11 災害・事故等への対応について

原則として貴社の社内規定に従います。

【ご参考】

本学では、自然災害・交通機関運行停止等が発生した場合、下記のとおり対応いたしております。

【各種気象警報発令時の取扱】

神奈川県下に「暴風警報・大雨警報・洪水警報」が同時に発令された場合及び「特別警報」が発令された場合、下記の基準を適用する。

【警報解除時刻】	【授業・試験の取扱】
午前 7 時迄に警報が解除された場合	平常通り実施
午前 11 時迄に警報が解除された場合	1・2 時限目は休講・試験延期とし、3 時限目(13 時)から実施
午後 1 時まで警報が解除された場合	1・2・3 時限目は休講・試験延期とし、4 時限目(14 時 40 分)から実施
午後 1 時を過ぎても警報が解除されない場合	全時限休講・試験延期

※授業又は試験中に上記の事態が発生した場合、学長の判断で措置を決定し、掲示(鶴見大学ポータルシステム、大学ホームページの掲載含む)や緊急放送を以って速やかに通知します。

【交通機関運行停止時の取扱】

JR 京浜東北線・根岸線(東京～大船間)及び、私鉄 京浜急行線(品川～三崎口間)のいずれも不通となった場合のみ、下記の基準を適用する。

【警報解除時刻】	【授業・試験の取扱】
午前 7 時迄に運行開始された場合	平常通り実施
午前 11 時迄に運行開始された場合	1・2 時限目は休講・試験延期とし、3 時限目(13 時)から実施
午後 1 時まで運行開始された場合	1・2・3 時限目は休講・試験延期とし、4 時限目(14 時 40 分)から実施
午後 1 時を過ぎても不通の場合	全時限休講・試験延期

※授業又は試験中に上記の事態が発生した場合、学長の判断で措置を決定し、掲示(鶴見大学ポータルシステム、大学ホームページの掲載含む)や緊急放送を以って速やかに通知します。

※鶴見大学 学生生活 P87 引用

II 単位化夏期就業体験（英語英米文学科）

1 英語英米文学科について

実社会で使える英語を含む総合的な英語力を養成しています。また、英語を通して世界の情勢、異文化への視野を拡げ理解を深め、現代社会の多様な問題に対する意識を高めるよう指導することで、社会に柔軟に対応し、コミュニケーション能力の高い人材の育成を目指しています。

2 英語英米文学科の夏期就業体験の概要

英語英米文学科の夏期就業体験は「特別実習」という正課授業内で実施されます。

(1) 目的・内容：

企業や団体での体験学習を通じて、組織の中での個人の役割や仕事の内容を自分自身の目で理解し、実際の仕事の場面で必要とされる能力を知る。また、自分の興味や関心を拡げ、適性や改善すべき点を知り、卒業後の進路選択をより有意義なものにする。

(2) 科目名・単位： 特別実習・2単位

成績評価は、事前授業への取り組み（40%）、実習日誌と実習先からの評価（30%）、事後授業の評価（30%）から総合的に評価します。

(3) 担当教員： 英語英米文学科 加川順治 教授

(4) スケジュール

- a 事前グループ・ディスカッション（夏期就業体験について理解を深める）
- b 応募書類書き方講座
- c 個別事前指導 少なくとも2回（自己分析、業界・企業研究、各自の目標設定）
- d 事前講座 全3回
- e 実習期間：5日間～2週間程度
- f 成果報告書の作成・改善のための個別事後指導 少なくとも2回
- g 成果報告会（体験したこと、学んだこと、考えたことを報告し合う）
- h 成果報告書を企業に提出、報告

3 実施手順・必要書類

6頁の「IV 実施手順」、7頁の「V 必要書類一式について」をご参照ください。

Ⅲ 参加者数について

【昨年度夏期就業体験参加者数】

単位認定外	単位化参加者（英語英米文学科）	合計
56名	20名	76名

従来の夏期就業体験制度に加え、2013年度より英語英米文学科の単位化を導入し、夏期就業体験の充実を図ってまいりました。

令和6年度は61名の学生が、実習に向けて準備を開始いたしております。

Ⅳ 実施手順

時期	内容	送付書類	返送書類
3月上旬	大学から実習受入に必要な書類を送付いたします。	「受入確認書」 「受入企業概要書」 「受入計画書」 「学生受入ガイド」	
4月12日まで	返送いただきたい書類3点を作成していただき、大学にご返送ください。		「受入確認書」 「受入企業概要書」 「受入計画書」
7月上旬	貴社への夏期就業体験を希望している学生の志願書等を大学から送付致します。 また、学生からご挨拶のお電話があります。実習日程が確定しない場合、そこで調整をお願いします。	「志願書・履歴書・自己紹介書」 「学生名簿」 「誓約書」 「覚書」 「評価」 「アンケート」	
実習前日まで	「覚書」を作成していただき、大学にご返送ください。		「覚書」
8月5日～9月13日	実習期間となります。実習日誌の点検、コメントの記入をお願いします。実習終了後、学生の「評価」と「アンケート」を記入していただき、大学にご返送ください。 また、学生に「日誌」をお戻しいただいていない場合、そちらも合わせてご返送ください。		「評価」 「アンケート」
9月～10月	学生が作成した「成果報告書」をメールで送付致します。可能であればフィードバックをお願いします。	「成果報告書」	

V 必要書類一式について

《4月12日(金)までにご回答いただきたい書類》

1. 「受入確認書【様式1】」
2. 「受入企業概要書【様式2】」
3. 「受入計画書【様式3】」

※受入不可の場合は、「受入確認書【様式1】」のみ回答をお願い致します。

●上記の書類につきましては、FAX 又はメールでご送付ください。

FAX : 045 (580) 8258

E-mail : internship@tsurumi-u.ac.jp

次の書類につきましては、次ページ以降に様式【見本】を添付いたします。また、「IV 実施手順」にも記載がございますので、ご確認ください。

- ・「夏期就業体験実習希望者 志願書・履歴書・自己紹介書【様式4】」
- ・「鶴見大学夏期就業体験学生名簿【様式5】」
- ・「誓約書【様式6】」
- ・「夏期就業体験に関する覚書【様式7】」
- ・「実習日誌【様式8】」
- ・「夏期就業体験学生評価書【様式9】」
- ・「鶴見大学夏期就業体験 アンケート【様式10】」

大学ホームページから夏期就業体験の必要書類を
ダウンロードすることができます。

<https://www.tsurumi-u.ac.jp/site/career/internship.html>

鶴見大学夏期就業体験実習希望者 志願書

(西暦) 年 月 日

希望先企業名			
--------	--	--	--

大学名・学部・学科			
-----------	--	--	--

学 年		学籍番号	
-----	--	------	--

(フリガナ) 氏 名			
---------------	--	--	--

◆夏期就業体験応募動機(なぜ夏期就業体験に参加したいか 等)

◆企業志望理由

※この書類に記載された個人情報については、夏期就業体験制度のみに使用し、他の目的には一切使用しません。

履歴書・自己紹介書

写真貼付
(4cm×3cm)
写真裏面に
大学名・学部・
学科・氏名を記入

	(西暦)	年	月	日	
フリガナ		性別	生年月日		
氏名			年	月	日生 (満 歳)
フリガナ					電話番号
現住所	〒				
メールアドレス					携帯電話等

年	月	学 歴 (高校入学以降)

ゼミナール、研究題目または興味のあるテーマ等をご記入ください

力を注いでいること

自己PR(免許・資格、趣味、特技など)

※この書類に記載された個人情報については、夏期就業体験制度のみに使用し、他の目的には一切使用しません。

鶴見大学夏期就業体験
学生名簿

企業名 _____

	学部・学科	学年	学生氏名
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

誓 約 書

企 業 名 _____

代表者名 _____ 様

この度、貴社に夏期就業体験をお願いするにあたり、貴社の諸規則及び夏期就業体験指導責任者の指示を守り、貴社に一切迷惑をかけることを誓約いたします。

また、本夏期就業体験で発生した報酬及び交通費については、辞退させていただきます。

(西暦) 年 月 日

鶴 見 大 学 文 学 部

_____ 学科 年

学 籍 番 号 _____

氏 名 _____ 印

ご提出用

夏期就業体験に関する覚書

鶴見大学（以下「甲」という。）と株式会社〇〇（以下「乙」という。）は、令和 6 年度夏期就業体験の実施に関して、下記のとおり覚書を締結する。

記

1 実習条件等

- (1) 実習は、受入計画書に基づき行うものとする。その他詳細については別表のとおりとする。
- (2) 乙の指示に違反する行為があった場合は、直ちに実習を中止する。
- (3) 甲は学生に対し、自己の安全に留意させるものとする。
- (4) 実習中に事故が発生した場合、乙の故意・過失に基づくものでない限り、乙は免責されるものとする。
- (5) 通勤途中の事故、災害については乙の責に帰さない。

2 遵守事項

甲は派遣した学生に対し、次の事項を遵守させるものとする。

- (1) 夏期就業体験実施期間中は乙の指示に従うこと。
- (2) 乙の機密を遵守し、他に漏洩しないこと。
- (3) 乙の名誉を毀損するような言動は行わないこと。
- (4) 乙の営む事業を阻害するような言動は行わないこと。

3 損害賠償

故意又は過失により乙に損害を与えた場合には、甲が誠意を以ってこれを処理する。

4 個人情報保護

夏期就業体験に関する個人情報は、機密を遵守し、実習関係以外に利用することはしないものとする。

5 協議

この覚書に定めがない事項及びこの覚書に関して生じた疑義については、甲、乙協議して定めるものとする。

この覚書の締結を証するため、本書 2 通を作成し、甲、乙捺印の上、それぞれ一通を所持する。

(西暦) 年 月 日

所在地 神奈川県横浜市鶴見区鶴見 2-1-3

甲 大学名 鶴見大学

代表者名 学長

印

所在地

乙 企業名

代表者名

印

(※受入先企業が記入)

学生氏名	
実習期間・時間・休日	(西暦) 年 月 日 () ~ (西暦) 年 月 日 () 1日の実習時間 時 分 ~ 時 分 期間中の休日 ()
実習場所	
実習内容	

(※大学が記入)

加入保険	災害傷害	保険会社	
		保険期間	
		補償金額	
	賠償責任	保険会社	
		保険期間	
		補償金額	

ご提出用

実 習 日 誌

実習先	
-----	--

第 日目	月 日 () : ~ :
------	---------------

指示を受けた業務の処理スケジュール

業務項目 (納期順または優先順に記録する)	実際の処理のスケジュール (経験したこと・学んだことも記入する)
午前	午前
午後	午後

今日の業務から学んだこと (上記で書ききれないことも含め、総合的に一日を振り返って記録する)

--

質問事項 (今日の業務等に関して、質問事項があれば記入する)

--

今日の感想・反省点、それに基づいた明日の目標 (今日の業務等を振り返って記入する)

--

鶴見大学文学部 _____ 学科 _____ 学年 _____

学籍番号 _____ 氏名 _____

指導コメント

〈チェック項目〉 <input type="checkbox"/> 非常に熱心に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 問題意識を持って学んでいる。 <input type="checkbox"/> 礼儀、言葉遣いの基本が身についている。 <input type="checkbox"/> 積極的に質問・確認ができています。	〈コメント欄〉 部署 _____ お名前 _____ 印
--	--

ご提出用

(西暦) 年 月 日

鶴見大学 学長 殿

夏期就業体験学生評価書

貴大学より受入をしました学生の評価について下記のとおり、ご報告いたします。

受入企業名		
記入者	役職	
	名前	

学生氏名	
------	--

1. 実習態度

不明な点に対する反応	(積極的に質問)	5 - 4 - 3 - 2 - 1	(自分勝手に判断)
------------	----------	-------------------	-----------

(コメント)

まわりの社員との交流	(積極的)	5 - 4 - 3 - 2 - 1	(消極的)
------------	-------	-------------------	-------

(コメント)

2. 課題処理

指示内容の理解度	(的確に理解)	5 - 4 - 3 - 2 - 1	(理解度が悪い)
----------	---------	-------------------	----------

(コメント)

仕事の処理のスピード	(速い)	5 - 4 - 3 - 2 - 1	(遅い)
------------	------	-------------------	------

(コメント)

仕事の仕方	(丁寧で確実)	5 - 4 - 3 - 2 - 1	(ミスが多い)
-------	---------	-------------------	---------

(コメント)

状況変化への対応	(柔軟に対応)	5 - 4 - 3 - 2 - 1	(対応が遅い)
----------	---------	-------------------	---------

(コメント)

3. その他、お気付きの点をご記入ください。

--

ご提出用

鶴見大学夏期就業体験 アンケート

貴社・貴団体名		
記入者	役職	
	名前	

本学の夏期就業体験運営にあたり、ご意見、ご要望、ご連絡事項等がございましたら
ご記入ください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

ご協力ありがとうございました。

